

令和2年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 令和2年6月24日(水)【13:30～14:20】

於：機構9F特別会議室

○出席者 委員： 中村 洋 委員（慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授）
原木 詩人 委員（弁護士）
和田 義博 委員（公認会計士）
吉野 裕 委員（当機構監事）
大橋 裕子 委員（当機構監事）

【議事内容】

審議事項

- (1) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】（平成31年4月～令和2年3月）
- (2) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】（平成31年4月～令和2年3月）
- (3) 平成31(令和元)年度調達等合理化計画にかかる取り組み状況
令和2年度調達等合理化計画(案)

【主な意見・質問等】

- (1) 「新たな競争性のない随意契約」について
 - 予定価格の参考とする見積金額の考え方について質問があり、回答がなされた。
- (2) 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について
 - 一般競争入札が望ましいが、開発者以外の競争入札への参加が見込みにくいシステム改修業務のような案件にあっては、随意契約のほうが合理的との見方もある。検討してみてはいかがか。
 - 新規事業者の開拓について、一層の努力を求めたい。
 - なお、何社が入札するかわからない仕組みの中で行われているのであれば、一者応札であっても競争入札の効果は果たされている。
- (3) 「平成31(令和元)年度調達等合理化計画取り組み状況」及び「令和2年度調達等合理化計画(案)」について
 - 障害者優先調達推進法への取組について、調達実績の達成目標の立て方を再考してもよいのではないか。

【委員の意見・質問等に対する対応】

- (1) について
 - 事業者の見積金額積算の考え方を検証するなどして、契約金額の妥当性を高めるよう努めている。
- (2) について
 - 一般競争が困難な案件を随意契約に切替えることについては、今後の検討課題とした。
 - ホームページ等を活用し、入札参加可能と思われる事業者への情報提供に努めてまいりたい。
- (3) について
 - 国の定める調達方針を踏まえつつ、検討・対応を図ってまいりたい。

以上